全数把握疾病（一類～五類感染症）の状況

※令和５(2023)年１月１日から令和５(2023)年 12 月 31 日に診断された内容です。
※※項目によっては複数選択のものがあり、総計と一致しない場合があります。

1. 一類感染症

該当する疾病の届出は県内ではありませんでした。

2. 二類感染症

結核

全国 15,377 件のうち、202 件（前年 154 件）の報告がありました。その内訳は患者 148 件、感染症死亡疑い者の死体１件、無症状病原体保有者 53 件でした。年齢階級別では０～９歳３件、10 歳代３件、20 歳代 25 件、30 歳代 17 件、40 歳代 14 件、50 歳代 19 件、60 歳代 25 件、70 歳代 36 件、80 歳代 44 件、90 歳代 16 件でした。性別は男性 112 件、女性 90 件でした。

その他の疾病の届出は県内ではありませんでした。

3. 三類感染症

(1) 細菌性赤痢

全国 47 件のうち、１件（前年０件）の報告がありました。推定感染経路は不明、推定感染地域は国外（インドネシア）でした。

(2) 腸管出血性大腸菌感染症

全国 3,826 件のうち、33 件（前年 46 件）の報告がありました。その内訳は患者 26 件、無症状病原体保有者７件でした。推定感染経路は経口感染 11 件、接触感染３件、その他２件、不明 17 件でした。推定感染地域は国内 24 件（栃木県内 21 件、県外２件、都道府県不明１件)、国内外不明９件でした。

(3) 腸チフス

全国 39 件のうち、１件（前年１件）の報告がありました。推定感染経路は経口感染、推定感染地域は国外（バングラデシュ）でした。

その他の疾病の届出は県内ではありませんでした。

4. 四類感染症

(1) Ｅ型肝炎

全国 552 件のうち、８件（前年３件）の報告がありました。推定感染経路は経口感染４件、不明４件でした。推定感染地域は栃木県内３件、国内外不明５件でした。

(2) つつが虫病

全国 445 件のうち、３件(前年５件)の報告がありました。推定感染経路はいずれも動物・蚊・昆虫等からの感染であり、推定感染地域はいずれも栃木県内でした。

(3) レジオネラ症

全国 2,291 件のうち、63 件(前年 56 件)の報告がありました。病型は肺炎型 61 件、ポンティアック熱型２件でした。推定感染経路は水系感染 23 件、塵埃感染２件、その他６件、不明 32 件でした。推定感染地域は国内 48 件（栃木県内 42 件、県外５件、都道府県不明１件)、国内外不明 15 件でした。

その他の疾病の届出は県内ではありませんでした。

5. 五類感染症（全数把握疾病）

(1) アメーバ赤痢

全国 489 件のうち、４件（前年７件）の報告がありました。性別はすべて男性でした。推定感染経路は経口感染１件、性的接触１件、不明２件でした。推定感染地域は国内２件（栃木県内１件、都道府県不明１件)、国内外不明２件でした。

(2) ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）

全国 244 件のうち、１件（前年４件）の報告がありました。病型は B 型、性別は女性でした。推定感染経路はその他、推定感染地域は栃木県内でした。

(3) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

全国 2,113 件のうち、30 件(前年 28 件)の報告がありました。年齢階級別では 20 歳代２件、30 歳代１件、40 歳代２件、50 歳代３件、60 歳代４件、70 歳代７件、80 歳代９件、90 歳代２件でした。推定感染経路は院内感染２件、医療器具関連感染８件、以前からの保菌６件、手術部位感染５件、その他４件、不明５件でした。推定感染地域は国内 28 件（栃木県内 26 件、県外１件、都道府県不明１件)、国内外不明２件でした。

(4) 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）

全国 55 件のうち、２件(前年３件)の報告がありました。年齢階級別ではいずれも 10 歳代でした。推定感染経路はその他１件、不明１件でした。推定感染地域はいずれも栃木県内でした。予防接種歴はあり１件、なし１件でした。

(5) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）

全国 661 件のうち、11 件（前年３件）の報告がありました。年齢階級別では１歳４件、２歳２件、５～９歳２件、10 歳代２件、30 歳代１件でした。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染６件、接触感染３件、その他１件、不明１件でした。推定感染地域は栃木県内９件、国内外不明２件でした。

(6) クロイツフェルト・ヤコブ病

全国 170 件のうち、１件（前年３件）の報告がありました。病型は古典型 CJD でした。年齢階級別では 70 歳代でした。

(7) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

全国 939 件のうち、７件（前年７件）の報告がありました。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染１件、創傷感染２件、その他３件、不明１件でした。推定感染地域は国内７件（栃木県内５件、都道府県不明２件）でした。

(8) 後天性免疫不全症候群

全国 948 件のうち、９件（前年 11 件）の報告がありました。病型は AIDS ２件、無症候性キャリア４件、その他３件でした。年齢階級別では 20 歳代２件、30 歳代３件、40 歳代１件、50 歳代３件でした。性別はいずれも男性でした。推定感染経路は性的接触８件（同性間性的接触６件、異性間性的接触１件、不明１件)、不明１件でした。推定感染地域は国内７件（栃木県内３件、県外３件、都道府県不明１件)、国外１件（インドネシア)、国内外不明１件でした。

(9) 侵襲性インフルエンザ菌感染症

全国 566 件のうち、５件(前年３件)の報告がありました。年齢階級別では０～９歳３件、60 歳代１件、80 歳代１件でした。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染４件、その他１件でした。推定感染地域はいずれも栃木県内でした。予防接種歴はあり２件、なし２件、不明１件でした。

(10) 侵襲性肺炎球菌感染症

全国 1,987 件のうち、19 件（前年 16 件）の報告がありました。年齢階級別では０～９歳４件、10 歳代１件、30 歳代１件、60 歳代５件、70 歳代３件、80 歳代２件、90 歳代３件でした。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染７件、その他２件、不明 10 件でした。推定感染地域は国内 18 件（栃木県内 15 件、県外２件、都道府県不明１件)、国内外不明１件でした。予防接種歴はあり５件、なし４件、不明 10 件でした。

(11) 水痘（入院例に限る）

全国 405 件のうち、６件(前年２件)の報告がありました。病型は検査診断例４件、臨床診断例２件でした。年齢階級別では０～９歳１件、20 歳代２件、50 歳代２件、80 歳代１件でした。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染４件、接触感染１件、不明１件でした。推定感染地域はいずれも国内（栃木県内３件、県外２件、都道府県不明１件）でした。予防接種歴はあり１件、なし１件、不明４件でした。

(12) 梅毒

全国 15,055 件のうち、171 件（前年 151 件）の報告がありました。病型は無症候（無症状病原体保有者）45 件、早期顕症梅毒（Ⅰ期）68 件、早期顕症梅毒（Ⅱ期）53 件、晩期顕症梅毒５件でした。年齢階級別では 10 歳代５件、20 歳代 44 件、30 歳代 31 件、40 歳代 48 件、50 歳代 23 件、60 歳代 11 件、70 歳代６件、90 歳代３件でした。性別は男性 109 件、女性 62 件でした。推定感染経路は性的接触 153 件（同性間性的接触８件、異性間性的接触 119 件、不明 27 件（※複数回答あり))、その他１件、不明 17 件

でした。推定感染地域は国内 136 件（栃木県内 98 件、県外 26 件、都道府県不明 12 件）、国内外不明 35 件でした。

(13) 播種性クリプトコックス症

全国 173 件のうち６件（前年１件）の報告がありました。年齢階級別では 70 歳代３件、80 歳代２件、90 歳代１件でした。推定感染経路は免疫不全４件、鳥類の糞などとの接触１件、不明１件でした。推定感染地域はいずれも栃木県内でした。

(14) 破傷風

全国 109 件のうち、１件（前年５件）の報告がありました。年齢階級別では 60 歳代でした。推定感染経路は不明、推定感染地域は栃木県内でした。予防接種歴は不明でした。

(15) 百日咳

全国 1,000 件のうち、４件（前年１件）の報告がありました。年齢階級別では０～９歳３件、50 歳代１件でした。推定感染経路は、家族内感染あり１件、不明３件でした。また流行の有無については、いずれも不明でした。推定感染地域は国内３件（栃木県内２件、都道府県不明１件）、国内外不明１件でした。予防接種歴はあり２件、なし１件、不明１件でした。

その他の疾病の届出は県内ではありませんでした。

6. 新型インフルエンザ等感染症

(1) 新型コロナウイルス感染症

県内で 70,850 件※（前年 341,528 件）の報告がありました。年齢階級別では、０～９歳 8,320 件、10 歳代 8,451 件、20 歳代 9,665 件、30 歳代 10,553 件、40 歳代 11,050 件、50 歳代 8,471 件、60 歳代 5,606 件、70 歳代 4,321 件、80 歳代 2,953 件、90 歳以上 1,460 件でした。

※2023 年５月８日から五類感染症（定点把握対象）となったため、
2023 年１月１日～５月７日までの集計値です。
なお、2022 年９月 26 日から発生届の届出対象が限定され、以下①から④のいずれかに該当する場合のみとされました。
①65 歳以上、②入院を要する者、③重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与が必要な者又は重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な者、④妊婦

その他の疾病の届出は県内ではありませんでした。

＜出典＞
感染症サーベイランスシステム
・全国報告数：公開データ（年報）【令和６(2024)年 10 月 30 日現在】
・栃木県報告数：全数閲覧【令和６(2024)年 10 月 30 日現在】
※新型コロナウイルス感染症については、HER-SYS（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム）および公表資料の情報をもとに集計。

令和５(2023)年　全数把握疾病　県内疾病別診断月別報告数

		全数把握疾病	令和５(2023)年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
一類	1	エボラ出血熱													
	2	クリミア・コンゴ出血熱													
	3	痘そう													
	4	南米出血熱													
	5	ペスト													
	6	マールブルグ病													
	7	ラッサ熱													
二類	1	急性灰白髄炎													
	2	結核	14	10	16	23	26	20	18	21	10	13	18	13	202
	3	ジフテリア													
	4	重症急性呼吸器症候群(SARS)													
	5	中東呼吸器症候群(MERS)													
	6	鳥インフルエンザ(H5N1)													
	7	鳥インフルエンザ(H7N9)													
三類	1	コレラ													
	2	細菌性赤痢												1	1
	3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1			1	3	6	5	3	5	3	5	33
	4	腸チフス									1				1
	5	パラチフス													
四類	1	Ｅ型肝炎			1	1		2	1			2	1		8
	2	ウエストナイル熱													
	3	Ａ型肝炎													
	4	エキノコックス症													
	5	黄熱													
	6	オウム病													
	7	オムスク出血熱													
	8	回帰熱													
	9	キャサヌル森林病													
	10	Ｑ熱													
	11	狂犬病													
	12	コクシジオイデス症													
	13	サル痘													
	14	ジカウイルス感染症													
	15	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)													
	16	腎症候性出血熱													
	17	西部ウマ脳炎													
	18	ダニ媒介脳炎													
	19	炭疽													
	20	チクングニア熱													
	21	つつが虫病												3	3
	22	デング熱													
	23	東部ウマ脳炎													
	24	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)													
	25	ニパウイルス感染症													
	26	日本紅斑熱													
	27	日本脳炎													
	28	ハンタウイルス肺症候群													
	29	Ｂウイルス病													
	30	鼻疽													
	31	ブルセラ症													
	32	ベネズエラウマ脳炎													
	33	ヘンドラウイルス感染症													
	34	発疹チフス													
	35	ボツリヌス症													
	36	マラリア													
	37	野兎病													
	38	ライム病													
	39	リッサウイルス感染症													
	40	リフトバレー熱													
	41	類鼻疽													
	42	レジオネラ症	6	2	2	5	8	11	9	3	4	5	6	2	63
	43	レプトスピラ症													
	44	ロッキー山紅斑熱													
五類	1	アメーバ赤痢	1							1	1			1	4
	2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)										1			1
	3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	2	2	6	2	1	5	2	3	3	1	30
	4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	1									2
	5	急性脳炎(ｳｴｽﾄﾅｲﾙ脳炎、西部ｳﾏ脳炎、ﾀﾞﾆ媒介脳炎、東部ｳﾏ脳炎、日本脳炎、ﾍﾞﾈｽﾞｴﾗｳﾏ脳炎及びﾘﾌﾄﾊﾞﾚｰ熱を除く)		1		1			3	2	1	1		2	11
	6	クリプトスポリジウム症													
	7	クロイツフェルト・ヤコブ病		1											1
	8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1	1		2			1	1	7
	9	後天性免疫不全症候群		1			2	1	3	2					9
	10	ジアルジア症													
	11	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1	1		1	5
	12	侵襲性髄膜炎菌感染症													
	13	侵襲性肺炎球菌感染症	3		2	2	3			1	3	1	4		19
	14	水痘（入院例に限る）			1		1	1	1				1	1	6
	15	先天性風しん症候群													
	16	梅毒	7	9	20	7	18	19	16	12	16	14	12	21	171
	17	播種性クリプトコックス症	1		1		1			1		1		1	6
	18	破傷風												1	1
	19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
	20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症													
	21	百日咳	1			1			1		1				4
	22	風しん													
	23	麻しん													
	24	薬剤耐性アシネトバクター感染症													
新型インフルエンザ等感染症	1	新型インフルエンザ													
	2	再興型インフルエンザ													
	3	新型コロナウイルス感染症※	49,556	11,573	4,481	4,000	1,240								70,850
	4	再興型コロナウイルス感染症													
計			49,592	11,600	4,527	4,043	1,307	60	61	55	43	47	49	54	71,438

※2023年５月８日から五類感染症（定点把握対象）となったため、2023年１月１日～５月７日までの集計値です。